

平成 18 年度 決算のあらまし

平成 18 年度の決算の概要についてお知らせします。

《一般会計の収支決算について》

平成 18 年度の一般会計の決算額は、歳出において、平成 17 年度に比較すると普通建設事業費(補助事業・単独事業とも)が大きく減少したため、総額で 1 億 6,012 万 8 千円(4.1%)の減となりました。また、歳入においても、これら普通建設事業費等に充当する国・県補助金や地方債の減少により、総額で 1 億 8,788 万 8 千円(4.6%)の減少となっています。

このような中であって、「豊かで、住みよい、活力あふれる、まちづくり」のため、各種の事業・施策を展開するとともに、予算編成の段階から事務事業の積極的な見直しを図り、効率的かつ効果的な事業執行に努めた結果、歳入歳出の差額のうち 19 年度に繰越した事業に充当する財源を差し引いた実質収支は、1 億 290 万 2 千円の黒字となりました。

★ 歳入総額 : 38 億 6,060 万 6 千円

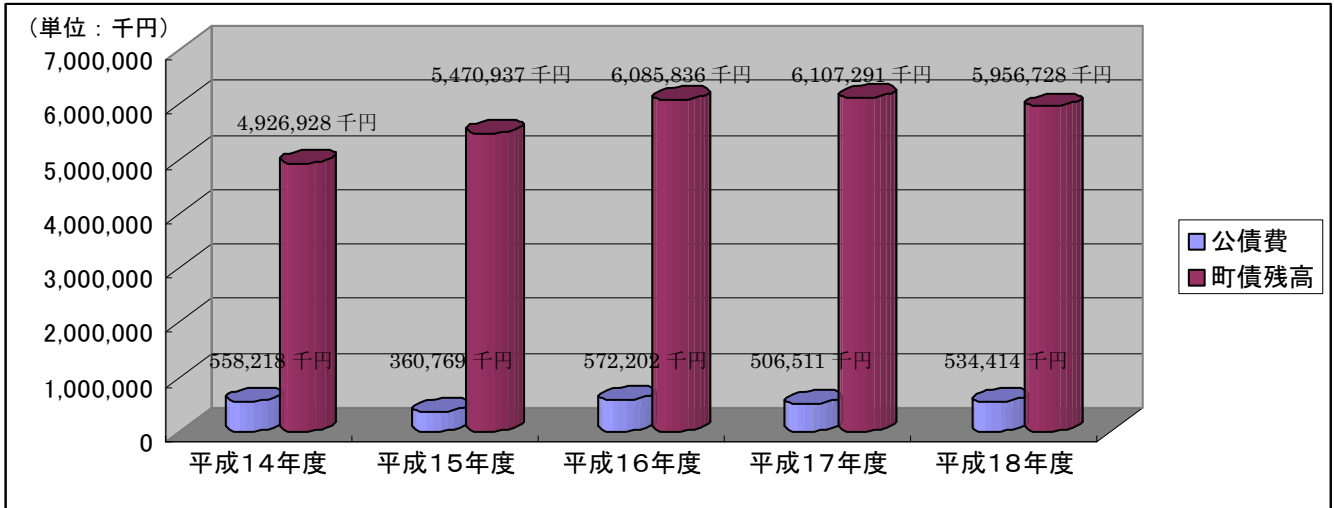
自主財源 (31.1%)	内 訳	町税	8 億 7,440 万 8 千円	22.6%
		繰越金	1 億 3,107 万 8 千円	3.4%
		使用料及び手数料	8,342 万 2 千円	2.2%
		繰入金	5,328 万 6 千円	1.4%
		諸収入	4,593 万 6 千円	1.2%
		分担金及び負担金、財産収入、寄附金	1,193 万円	0.3%
依存財源 (68.9%)	内 訳	地方交付税	18 億 2,445 万 7 千円	47.3%
		町債	2 億 6,230 万円	6.8%
		国庫支出金	1 億 2,903 万 4 千円	3.3%
		県支出金	1 億 4,019 万 1 千円	3.6%
		地方譲与税	1 億 5,799 万 3 千円	4.1%
		各種交付金(地方消費税、自動車取得税、地方特例、利子割、株式譲渡所得割、交通安全、ゴルフ場利用税、配当割)	1 億 4,657 万 1 千円	3.8%

★ 歳出総額 : 37 億 5,728 万 9 千円

民生費	7 億 1,130 万 6 千円	18.9%
総務費	6 億 6,533 万円	17.7%
衛生費	6 億 2,021 万 3 千円	16.5%
公債費	5 億 3,441 万 4 千円	14.2%
教育費	3 億 8,412 万 9 千円	10.2%
土木費	3 億 409 万円	8.1%
農林水産業費	2 億 2,756 万 1 千円	6.1%
消防費	1 億 8,843 万 7 千円	5.0%
議会費	8,901 万 7 千円	2.4%
その他	3,279 万 2 千円	0.9%

※その他(商工費・労働費・災害復旧費)

☆ 町債残高・公債費負担の推移



《特別会計・水道事業会計等の収支決算》

会計区分		歳入	歳出
特別会計	山長育英財産管理	67万3千円	64万1千円
	給食センター	7,920万6千円	7,845万円
	大木戸財産区	16万1千円	13万6千円
	入山財産区	81万3千円	78万円
	藤田財産区	18万2千円	16万2千円
	公共下水道事業	2億7,745万8千円	2億7,564万7千円
	老人保健	10億8,457万2千円	10億3,767万2千円
	国民健康保険	11億2,197万8千円	10億5,587万3千円
	介護保険(保険事業勘定)	6億5,240万3千円	6億4,356万6千円
	介護保険(サービス事業勘定)	57万7千円	56万2千円
	土地開発事業	1億3,612万8千円	1億3,125万6千円
	湧水対策施設	547万円	534万4千円
	貝田簡易水道	1億2,067万6千円	1億2,067万6千円
	計	34億8,029万7千円	33億5,076万5千円
水道事業会計		収益的収入	収益的支出
		1億9,757万9千円	1億9704万1千円
		資本的収入	資本的支出
		4,316万3千円	1億5,894万3千円

※水道事業の資本的収支において、不足分は過年度留保金で補てんしました。

※貝田簡易水道特別会計は、上水道事業に統合のため18年度末で廃止。

会計区分	歳入	歳出
石母田財産区一般会計	54万9千円	49万円